

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 正彰
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	235,604	20.8	5,374	—	4,983	—	2,797	—
22年3月期第3四半期	195,049	△20.0	375	△93.8	138	△97.6	△4,269	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	116.48	—
22年3月期第3四半期	△177.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	123,825	38,915	27.6	1,423.14
22年3月期	125,443	37,507	26.9	1,406.69

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 34,174百万円 22年3月期 33,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	12.5	6,100	170.0	5,500	170.2	2,200	—	91.61

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ー）、除外 一社（社名 ー）
（注）当四半期連結会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 24,042,700株 22年3月期 24,042,700株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 29,013株 22年3月期 28,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 24,013,725株 22年3月期3Q 24,013,766株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の経済状況は、国内の景気は、設備投資や個人消費が持ち直しているものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあり、景気は足踏み状態となりました。一方、海外においては、米国の景気は、信用収縮や高い失業率が継続することなどによる停滞が懸念されるものの、緩やかに回復いたしました。アジア諸国の景気は、中国やインドで拡大し、先行きも拡大傾向が続くと見込まれ、その他の国においても総じて景気は回復いたしました。また、欧州主要国の景気は、高い失業率が継続することなどによる低迷が懸念されるものの、景気持ち直しの動きがみられるようになりました。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、研究開発及び生産体制の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。研究開発面では、製品の軽量化やコストダウンなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、各地域の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。また、管理間接領域における業務改革にも取り組んでまいりました。品質面では、引き続き桁違い品質の実現に向けて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結会計期間の売上高は、自動車部品における受注の増加などにより、781億6百万円と前年同期に比べ54億5千5百万円、7.5%の増収となりました。利益につきましては、自動車部品の増収に伴う利益の増加、原価改善効果及び減価償却費の減少などにより、研究開発費の増加などはあったものの、経常利益は、20億9千5百万円と前年同期に比べ8億1千8百万円、64.1%の増益となりました。四半期純利益は、12億9千7百万円と前年同期に比べ4億5百万円、45.4%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、自動車部品全般における受注の増加などにより、売上高は545億2千6百万円、経常利益は3億6千2百万円となりました。

(米州)

米州においては、連結子会社であるヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エル シー (米国) 及びヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド (カナダ) における大幅な受注の増加などにより、売上高は85億2千万円、経常利益は1億5千1百万円となりました。

(中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業 (武漢) 有限公司 (中国) における大幅な受注の増加などにより、売上高は52億4千6百万円、経常利益は7億3千9百万円となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド (タイ)、サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド (タイ)、ゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド (ベトナム) 及びゴウシ インディア オートパーツ プライベート リミテッド (インド) における大幅な受注の増加などにより、売上高は98億1千4百万円、経常利益は8億4千7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,238億2千5百万円と前年度に比べ16億1千8百万円の減少となりました。

減少した要因は、現金及び預金やたな卸資産の増加などがあったものの、有形固定資産や受取手形及び売掛金の減少、また、為替換算レート差による円換算額の減少などによるものであります。

負債合計は、849億1千万円と前年度に比べ30億2千5百万円の減少となりました。

減少した要因は、長期借入金の増加などがあったものの、短期借入金や支払手形及び買掛金の減少、また、為替換算レート差による円換算額の減少などによるものであります。

純資産合計は、389億1千5百万円と前年度に比べ14億7百万円の増加となりました。

増加した要因は、為替換算レート差による為替換算調整勘定の減少などがあったものの、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億7千9百万円、たな卸資産の増加額10億8千4百万円及び有形固定資産の取得による支出39億9千万円の資金需要及び長期借入金の返済額12億8千1百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益20億6千5百万円、減価償却費26億9千4百万円及び短期借入金の純増額35億3千1百万円などにより、当第3四半期連結会計期間末における資金残高は82億1千8百万円となり、第2四半期連結会計期間末と比べ5億9千6百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益20億6千5百万円及び減価償却費26億9千4百万円などがあったものの、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億7千9百万円及びたな卸資産の増加額10億8千4百万円などの資金需要により、前年同期に比べ18億3千8百万円減少し、24億9百万円（前年同期は42億4千8百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ10億7千2百万円増加し、39億9千6百万円（前年同期は29億2千3百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の返済額12億8千1百万円などがあったものの、短期借入金の純増額35億3千1百万円などにより、前年同期に比べ28億1千5百万円増加し、21億6百万円（前年同期は7億9百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年7月28日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は42百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は37百万円であります。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,219	5,264
受取手形及び売掛金	35,477	38,166
商品及び製品	1,216	1,216
仕掛品	3,143	2,018
原材料及び貯蔵品	4,310	3,890
その他	3,209	2,474
流動資産合計	55,577	53,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,425	42,613
機械装置及び運搬具	83,912	83,080
工具、器具及び備品	39,568	42,005
土地	18,155	16,603
建設仮勘定	3,331	3,899
減価償却累計額	△122,798	△120,047
有形固定資産合計	64,595	68,153
無形固定資産		
のれん	932	1,147
その他	330	406
無形固定資産合計	1,262	1,554
投資その他の資産	2,390	2,704
固定資産合計	68,248	72,412
資産合計	123,825	125,443

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,698	32,991
短期借入金	15,002	23,025
1年内返済予定の長期借入金	5,846	5,694
賞与引当金	1,220	2,106
その他	9,037	8,217
流動負債合計	62,805	72,034
固定負債		
長期借入金	15,559	9,789
退職給付引当金	5,120	4,623
その他	1,424	1,488
固定負債合計	22,104	15,901
負債合計	84,910	87,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	33,499	31,158
自己株式	△24	△24
株主資本合計	40,664	38,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126	189
為替換算調整勘定	△6,616	△4,733
評価・換算差額等合計	△6,489	△4,543
少数株主持分	4,740	3,727
純資産合計	38,915	37,507
負債純資産合計	123,825	125,443

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	195,049	235,604
売上原価	186,749	221,482
売上総利益	8,300	14,121
販売費及び一般管理費	7,924	8,747
営業利益	375	5,374
営業外収益		
受取利息	65	83
固定資産賃貸料	69	85
その他	174	84
営業外収益合計	309	253
営業外費用		
支払利息	457	343
為替差損	—	277
その他	89	22
営業外費用合計	546	643
経常利益	138	4,983
特別利益		
固定資産売却益	11	282
その他	0	0
特別利益合計	12	283
特別損失		
固定資産売却損	61	18
固定資産除却損	132	140
減損損失	48	—
特別退職金	259	86
その他	22	45
特別損失合計	524	291
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△373	4,975
法人税等	3,660	1,443
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,532
少数株主利益	236	734
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,269	2,797

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	72,651	78,106
売上原価	68,622	73,047
売上総利益	4,028	5,059
販売費及び一般管理費	2,650	2,927
営業利益	1,378	2,131
営業外収益		
受取利息	43	39
固定資産賃貸料	—	30
受取配当金	39	—
その他	47	26
営業外収益合計	131	95
営業外費用		
支払利息	167	112
その他	65	19
営業外費用合計	232	132
経常利益	1,276	2,095
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	65	28
特別退職金	24	—
その他	4	1
特別損失合計	96	31
税金等調整前四半期純利益	1,184	2,065
法人税等	73	516
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,549
少数株主利益	219	252
四半期純利益	891	1,297

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△373	4,975
減価償却費	9,451	8,540
減損損失	48	—
のれん償却額	215	215
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,126	△886
受取利息及び受取配当金	△109	△93
支払利息	457	343
有形固定資産売却損益(△は益)	50	△251
有形固定資産除却損	132	140
売上債権の増減額(△は増加)	△6,883	1,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	△186	△1,784
仕入債務の増減額(△は減少)	5,497	△542
その他	527	1,707
小計	7,701	13,991
利息及び配当金の受取額	100	89
利息の支払額	△446	△346
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,036	△1,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,392	12,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,009	△8,232
有形固定資産の売却による収入	390	665
その他	△856	515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,474	△7,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,292	△7,840
長期借入れによる収入	305	10,200
長期借入金の返済による支出	△3,909	△4,128
配当金の支払額	△576	△456
その他	△132	353
財務活動によるキャッシュ・フロー	979	△1,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	△165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△948	3,422
現金及び現金同等物の期首残高	4,835	4,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,886	8,218

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	52,897	7,597	12,156	—	72,651	—	72,651
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,638	91	26	—	1,757	(1,757)	—
計	54,536	7,689	12,183	—	74,408	(1,757)	72,651
営業利益 又は営業損失(△)	△86	64	1,473	△1	1,449	(71)	1,378

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	143,068	20,414	31,566	—	195,049	—	195,049
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,567	310	91	—	3,969	(3,969)	—
計	146,635	20,725	31,658	—	199,019	(3,969)	195,049
営業利益 又は営業損失(△)	△2,575	△177	3,240	△2	485	(110)	375

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国、ブラジル

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,524	10,723	1,510	19,758
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	72,651
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.3	14.8	2.1	27.2

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	20,341	28,595	3,070	52,006
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	195,049
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	14.7	1.6	26.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド他

その他の地域：英国、ブラジル他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社は、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象である「日本」、「米州」（カナダ、米国、ブラジル）、「中国」、「アジア」（タイ、ベトナム、インド）及び「その他の地域」（英国）を報告セグメントとしております。

「日本」では主に自動車及び自動車部品の製造及び販売を行っており、「米州」、「中国」、「アジア」及び「その他の地域」では主に自動車部品の製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	163,642	28,133	14,757	29,070	—	235,604	—	235,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,423	384	11	97	—	6,916	(6,916)	—
計	170,066	28,518	14,768	29,168	—	242,521	(6,916)	235,604
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△116	450	2,098	2,642	△0	5,074	(90)	4,983

(注) 1 セグメント利益の調整額△90百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	54,526	8,520	5,246	9,814	—	78,106	—	78,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,072	142	6	30	—	2,251	(2,251)	—
計	56,599	8,662	5,252	9,844	—	80,358	(2,251)	78,106
セグメント利益	362	151	739	847	0	2,102	(6)	2,095

(注) 1 セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。